



VDSL MODEM



VF200F6

ユーザーズマニュアル (取扱説明書)

2006年 4月 第2版

注 意

- ・ご使用前に必ずこのユーザーズマニュアルをよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本製品のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

廃棄方法について

本製品を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

ご注意

1. 本マニュアルの内容の一部、または全部を無断転載、複写、およびいかなる方法による複製も禁止します。
2. 本マニュアルの内容に関し、予告なしに変更することがあります。
3. 本製品を運用した結果の影響については、責任を負いかねますので御了承ください。
4. 許可なく改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
5. 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。
これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、当社製品の故障により人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるよう御注意願います。
6. 本マニュアルについて当社の許可なく複製・改変などを行うことができません。
7. 万一、本マニュアルに乱丁、落丁がありましたらお取り替え致します。

著作権

1. 本マニュアルの著作権は、日本電気株式会社が所有します。

商標

1. 本マニュアル中に記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

輸出に関する注意事項

日本国外へ持ち出す際には輸出該非判定書が必要になる場合がありますので当社にお問い合わせください。

本製品（ソフトウェア含む）は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービス及び技術サポート等は行っておりません。

使用上の注意事項

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから、マニュアルをお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

	誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、機器を水場で使用するのを禁止することを示しています。
	安全のため、機器を分解するのを禁止することを示しています。
	安全のため、AC電源アダプタを必ずACコンセントから抜くように指示するものです。

＜電源に関するご注意＞

 警告	
 	<p>本製品の電源は、AC100V±10V（50/60Hz）の電源以外では、絶対に使用しないでください。</p> <p>異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>AC電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからACコンセントに差し込んで下さい。</p> <p>また、半年から一年に一回は、AC電源アダプタを点検してください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>AC電源アダプタはACコンセントに確実に差し込んでください。</p> <p>AC電源アダプタの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>AC電源アダプタの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。</p> <p>ACコンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>AC電源アダプタや電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。</p> <p>AC電源アダプタや電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>

 	<p>AC電源アダプタや電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。</p> <p>AC電源アダプタや電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>付属のAC電源アダプタ以外使用しないでください。</p> <p>付属のAC電源アダプタ以外を使用すると、火災、感電、装置故障の原因となります。</p>
	<p>濡れた手でAC電源アダプタをACコンセントに抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
	<p>AC電源アダプタをACコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>

注意

 	<p>AC電源アダプタをACコンセントから抜くときは、必ずAC電源アダプタを持って抜いてください。</p> <p>電源ケーブルの損傷による火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>本製品をご使用にならないときは、安全のため必ずAC電源アダプタをACコンセントから抜いてください。</p>

＜保管および使用環境に関するご注意＞

 警告	
	本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。
	液体が本製品にこぼれたり、本製品の中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。
  	本製品をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度80%以上）では使用しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。

 注意	
	本製品やAC電源アダプタ、電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。
	電源ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
 	本製品を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。

	<p>本製品を直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）に置かないでください。</p> <p>本製品内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本製品の通風孔には物を置かないでください。</p> <p>通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本製品を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本製品を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本製品は、横置き卓上設置の場合はゴム足が下になるように、縦置き卓上設置の場合は縦置き台を取り付けて設置してください。</p> <p>転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
<p>本製品をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビなどに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本製品に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離して使用してください。</p>	

＜禁止事項＞

 警告	
  	<p>本製品内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>本製品の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。</p>
  	<p>本製品内部の分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>
 	<p>本製品に水などの液体が入ったり、本製品を濡らしたりしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>
 	<p>本製品の通風孔など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>

 **注意**

本製品の上にものを載せたり、本製品に乗ったりしないでください。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
破損等により、けがの原因となることがあります。

＜異常時およびトラブルに関するご注意＞

 警告	
  	<p>万一、本製品を落としたり、破損したりした場合、AC電源アダプタをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、本製品の内部に水などの液体が入った場合は、AC電源アダプタをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、異物が本製品の内部に入った場合は、AC電源アダプタをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>AC電源アダプタや電源ケーブルが傷んだときは、すぐにAC電源アダプタをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>

	<p>万一、本製品から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐにAC電源アダプタをACコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して、ご使用をお控えください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
---	--

⚠ 注意

	<p>落雷の恐れのあるときは、必ずAC電源アダプタをACコンセントから抜いてご使用をお控えください。</p> <p>落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>雷が鳴っているときは、AC電源アダプタに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

＜お手入れに関するご注意＞

注意



本製品のお手入れをする際は、安全のため必ずAC電源アダプタをACコンセントから抜いてください。

ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので注意してください。

目次

ご注意.....	1
使用上の注意事項.....	2
目次.....	12
第1章 はじめに.....	13
1.1 マニュアルについて.....	13
1.2 製品の特長.....	13
1.3 装置の構成.....	14
第2章 操作部、および表示部.....	15
2.1 VF200F6前面図.....	15
2.2 VF200F6背面図.....	16
第3章 設置、および接続の方法.....	17
3.1 設置.....	17
3.1.1 環境条件.....	17
3.1.2 設置場所.....	17
3.1.3 設置方法.....	18
3.2 ケーブルの接続.....	20
3.2.1 本製品のみを接続する場合.....	20
3.2.2 アナログ電話機またはISDN用DSU内蔵TAと同時に接続する場合.....	21
3.2.3 AC電源アダプタの接続、およびAC100Vの供給.....	22
第4章 機能.....	23
4.1 VF200F6仕様.....	23
第5章 注意事項.....	25
5.1 電源の再投入について.....	25
5.2 装置の設置について.....	25
5.3 長期保管について.....	25
第6章 トラブルシューティング.....	26
6.1 表示ランプの状態によるチェックポイント.....	26
6.2 電話機の状態によるチェックポイント.....	27

第1章 はじめに

ユーザズマニュアルの使い方と本製品の概要について説明します。
ご使用になる前に必ずお読みください。

1.1 マニュアルについて

- ・本マニュアルでは、VF200F6 の機能、および取扱方法について説明します。
- ・本マニュアルは、以下の章で構成されています。
- ・第1章「はじめに」では、マニュアルの内容と本製品の特長について説明します。
- ・第2章「操作部、および表示部」では、操作部と表示部について説明します。
- ・第3章「設置、および接続の方法」では、本製品の設置方法、およびケーブル類の接続方法について説明します。
- ・第4章「機能」では、本製品の機能概要について説明します。
- ・第5章「注意事項」では、本製品取扱上の注意点について説明します。
- ・第6章「トラブルシューティング」では、トラブルが発生した時の対処について説明します。

1.2 製品の特長

- ・コンパクトなデザイン
軽量かつコンパクトなサイズを実現しました。
外形寸法：約 30mm(W)×110mm(D)×160mm(H) (突起物を含まず)
質量：260g 以下 (本体のみ)
- ・メタリック線を使用するため既存回線の活用や新規工事も簡単です。
- ・わかりやすいLED表示で本製品の状態を確認することが可能です。
(電源状態、通信状態、故障状態他)
- ・自己診断試験機能を具備しています。
(自己診断試験は電源起動時に実行されます)
- ・アナログ電話機またはISDN用DSU内蔵TAを接続するためのインラインフィルタを内蔵しています。
- ・VDSLコンセントレータ側からの制御によるVF200F6の折り返し試験機能を具備しています。
- ・VDSLコンセントレータ側へLANインタフェースのリンク状態を通知する機能を具備しています。

1.3 装置の構成

本製品の構成を以下に示します。品物が揃っているか、破損していないかを確認してください。

構成品一覧

構成品名	数量
VF200F6	1台
モジュラケーブル (2m)	1本
UTPケーブル (ストレート) (3m)	1本
AC電源アダプタ	1個
縦置き台	1個
VF200F6取扱説明書	1部

第2章 操作部、および表示部

2.1 VF200F6前面図

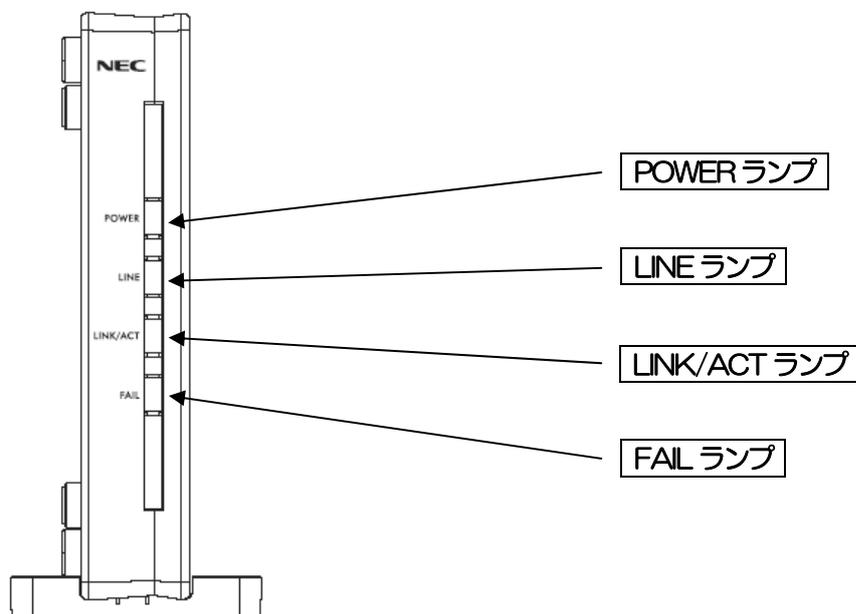


図 1 前面図

■VF200F6本体前面各部の名称、および動きを説明します。

ランプ名称	色	点灯/点滅/消灯	状態
POWER ランプ	緑	点灯 消灯	電源が投入されています。 電源が切れています。
LINE ランプ 【注】	緑	点灯 点滅 消灯	VDSL LINE のリンクが確立しています。 VDSL LINE がトレーニング中です。 VDSL LINE の接続動作停止中、または本製品故障です。
LINK/ACT ランプ	緑	点灯 点滅 消灯	LAN インタフェースのリンクが確立しています。 LAN インタフェースでデータの送受信をしています。 LAN インタフェースのリンクが確立していません。
FAIL ランプ	赤	点灯 消灯	自己診断試験中の異常、または本製品動作中の異常を検出しました。 通常動作中です。

【注】LINE ランプは、電源を入れてから約 10 秒後に点滅を開始します。また VDSL LINE のリンクダウンが発生した場合、約 20 秒間 LINE ランプが消灯します。その後 VDSL LINE のトレーニングを開始し、LINE ランプは点滅を開始します。LINE ランプが 30 秒間以上継続して消灯する場合は、本製品が故障しています。

2.2 VF200F6背面図

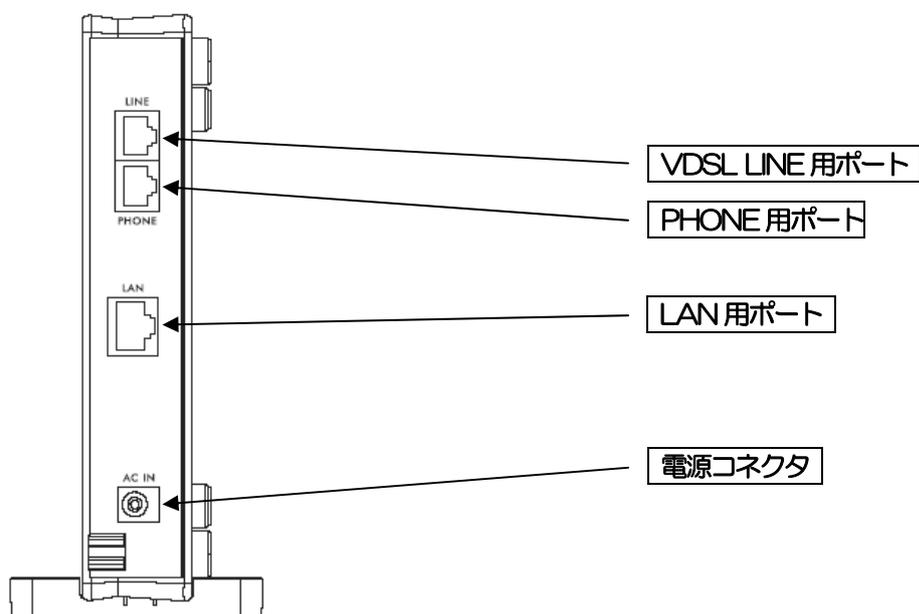


図 2 背面図

■VF200F6本体背面各部の名称、および働きを説明します。

名称	表示	機能説明	備考
VDSL LINE用ポート	LINE	VDSL 回線と接続するためのポートです。	6ピンモジュラージャック (RJ-11)
PHONE用ポート	PHONE	アナログ電話機またはISDN用DSUと接続するためのポートです。	6ピンモジュラージャック (RJ-11)
LAN用ポート 【注】	LAN	UTPストレートケーブル(カテゴリ5以上)でパソコン等と接続するためのポートです。	8ピンモジュラージャック (Auto-Negotiation ON 設定時: Auto MDI、Auto-Negotiation OFF 設定時: MDI-X) (RJ-45)
電源コネクタ	AC IN	添付のAC電源アダプタを接続します。	添付のAC電源アダプタ以外は接続しないでください。

【注】本製品からLANインタフェースの設定変更は出来ません。
LANインタフェースのデフォルト設定はAuto-Negotiation ONです。

第3章 設置、および接続の方法

3.1 設置

3.1.1 環境条件

温度：0～40℃

湿度：5～80%（非結露）

3.1.2 設置場所

設置は VF200F6 の動作に影響を及ぼすおそれがある場所を避けて、適切な場所を選んでください。

注意



本製品は以下の場所に設置しないでください。本来の性能を発揮できなかったり機能停止をまねく恐れがあります。

- ・水や薬品等液体のかかる場所
- ・ほこりや塵の入る場所
- ・温度・湿度環境が不適切な場所
- ・通気性の悪い場所
- ・無線機やテレビなど電磁波や磁気の影響を受ける場所
- ・不安定な場所
- ・本製品の周囲に10cm以上の空間がない場所

3.1.3 設置方法

本製品の設置方法には、縦置き卓上設置、横置き卓上設置があります。縦置き卓上設置で使用される場合は<縦置き台の取付け手順>を参考にして縦置き台を取り付けてください

■ 縦置き卓上設置

縦置き卓上設置は、本体に縦置き台を取付けた状態で本製品をテーブル等の安定した場所に設置する方法です。図 3に縦置き卓上設置例を示します。

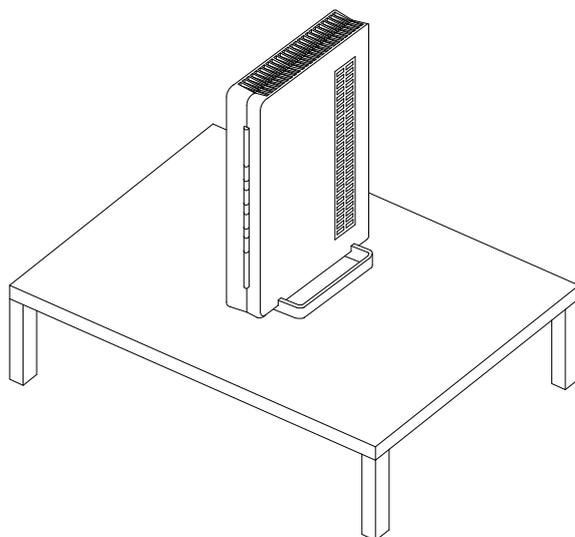


図 3 縦置き卓上設置

<縦置き台の取付け手順>

縦置き台の突起部付近に「前」と表示された方を本製品の前面側にして、縦置き台の突起部と本体の縦置き台取付穴が合うように縦置き台を取り付けます。

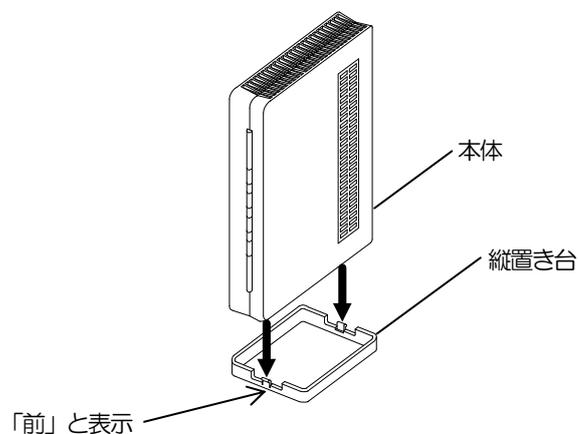


図 4 縦置き台の取付け

<縦置き台の取外し手順>

縦置き台を固定して、本体を上方向に持ち上げて本製品から縦置き台を取外します。

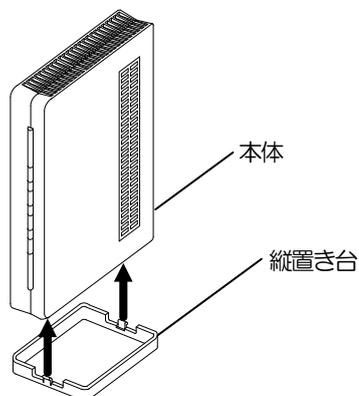


図 5 縦置き台の取外し

■ 横置き卓上設置

横置き卓上設置は、本製品をテーブル等の安定した場所に設置する方法です。図 6に横置き卓上設置例を示します。

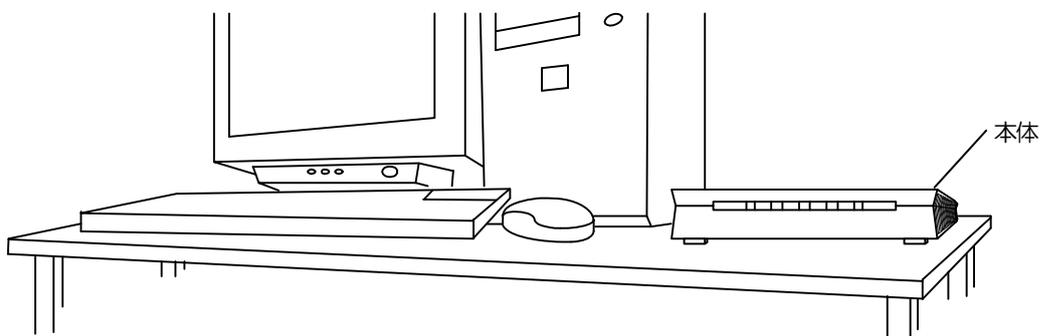


図 6 横置き卓上設置

3.2 ケーブルの接続

3.2.1 本製品のみを接続する場合

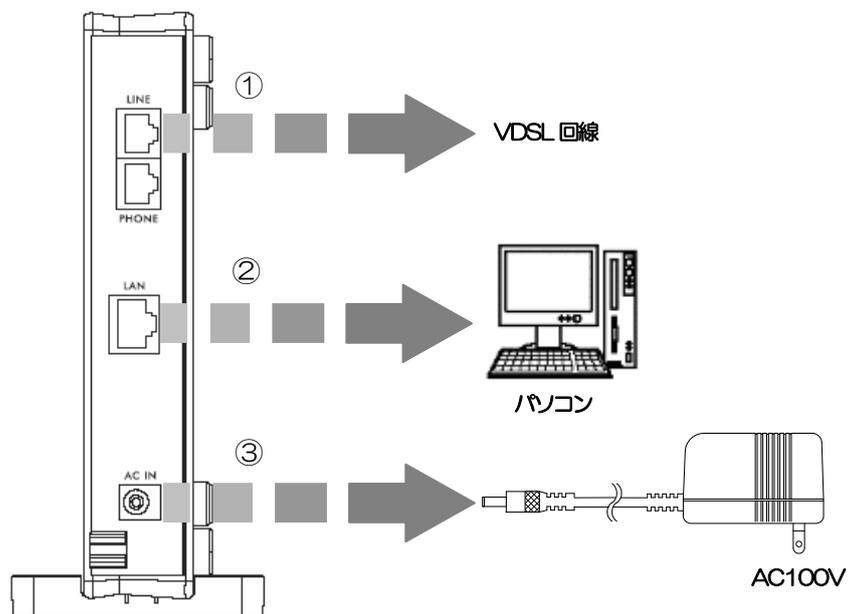


図 7 ケーブル接続イメージ

■ 使用ケーブル

接続に使用するケーブルは下記のとおりです。

- ①VDSL LINE用 : モジュラケーブル (2m) (添付品)
- ②LAN用 : UTPケーブル (ストレート3m) (カテゴリ5以上) (添付品)
- ③電源用 : AC電源アダプタ (添付品)

3.2.2 アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に接続する場合

一つのモジュラジャックから VDSL 回線と電話回線（アナログまたは ISDN）を同時に使用する場合は、下図のように本製品とモジュラジャック、パソコンおよびアナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA を接続してください。

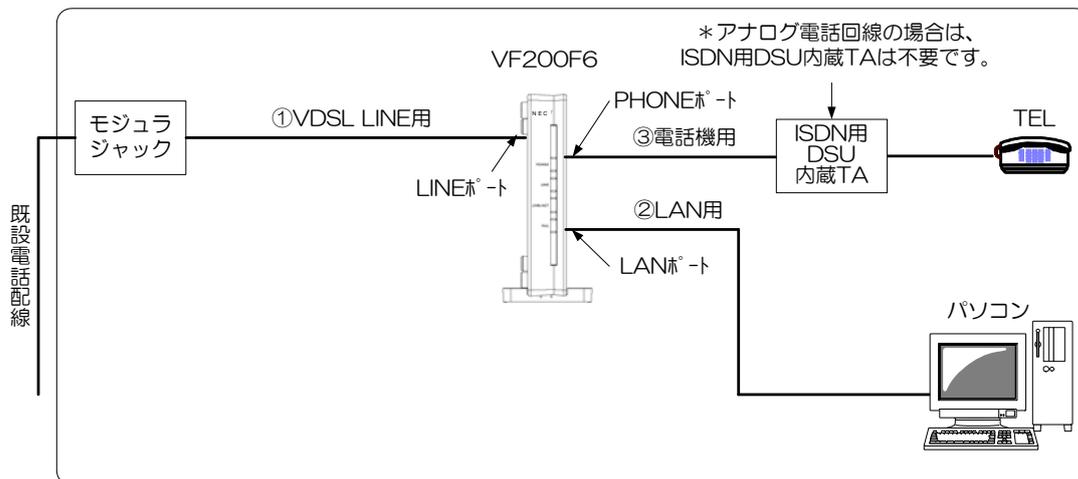


図 8 アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に使用する場合

■ 使用ケーブル

接続に使用するケーブルは下記のとおりです。

- ①VDSL LINE 用 : モジュラケーブル (2m) (添付品)
- ②LAN 用 : UTP ケーブル (ストレート 3m) (カテゴリ 5 以上) (添付品)
- ③電話機用 (※1) : モジュラケーブル (別途購入品)

※1 : アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA 用

3.2.3 AC電源アダプタの接続、およびAC100Vの供給

本製品への給電は本体電源コネクタに添付のAC電源アダプタを接続してAC電源アダプタをAC100Vコンセントに接続します。また、本製品背面の電源ケーブル固定用フックを用いて電源ケーブルを図9のように本製品に固定してください。

⚠ 注意



AC100V電源接続時は、必ず添付のAC電源アダプタを使用してください。故障の原因となりますので、添付のAC電源アダプタは本製品以外には使用しないでください。

また、AC電源アダプタをAC100Vコンセントに長い間差し込んだままにしておくと、AC電源アダプタやAC100Vコンセントの絶縁物の表面にほこりや水分が付着して導回路が形成され、絶縁物が劣化して火災に至る原因となることがあります（トラッキング現象）。

AC100Vコンセントの周りにほこりをためないように清掃したり、AC電源アダプタがしっかりと差し込まれているかときどき確かめてください。

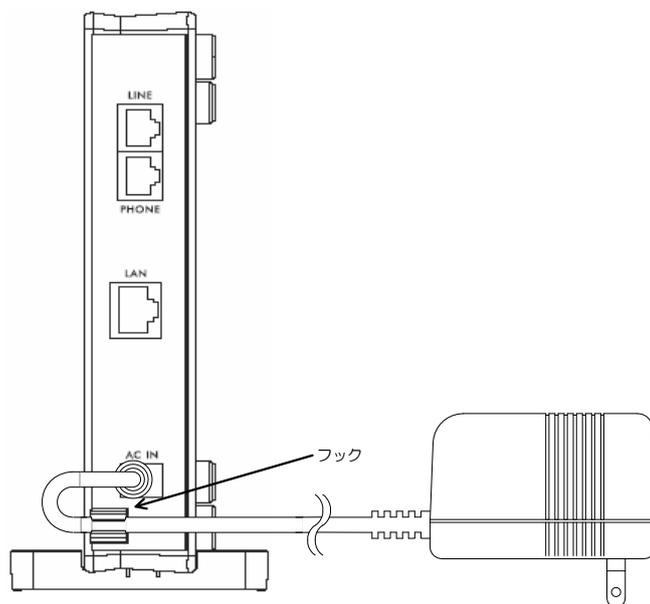


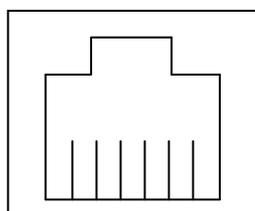
図9 電源ケーブルの固定

第4章 機能

4.1 VF200F6仕様

項目		仕様
VDSL LINE インタフェース	インタフェース	VDSL
	伝送線路	2W メタリックケーブル
	変調/多重方式	DMT 変調/FDD 方式
	コネクタ形状	RJ-11 注1)
PHONE インタフェース	収容回線	1 回線
	コネクタ形状	RJ-11 注2)
LAN インタフェース	インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/802.3u) 注3)
	コネクタ形状	RJ-45 注4)
動作環境	温度条件	0~40℃
	湿度条件	5~80% (非結露)
使用電源定格	AC100±10V 50/60Hz AC 電源アダプタ	
消費電力	10W 以下	
電磁波規格	VCCI-クラスB	
外形寸法	約 30(W)×110(D)×160(H)mm (突起物を含まず)	
質量	260g 以下 (本体のみ)	

注1) VDSL LINE インタフェースピンアサイン

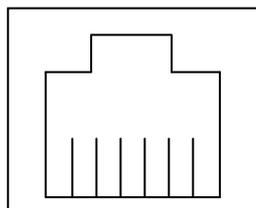


6 5 4 3 2 1

VDSL LINE インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	—	—	—
2	—	—	—
3	A	I/O	送信/受信データ
4	B	I/O	送信/受信データ
5	—	—	—
6	—	—	—

注2) PHONE インタフェースピンアサイン



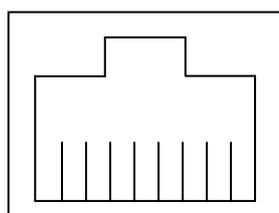
6 5 4 3 2 1

PHONE インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	—	—	—
2	—	—	—
3	L 2	I/O	送信/受信データ
4	L 1	I/O	送信/受信データ
5	—	—	—
6	—	—	—

注3) LAN インタフェースのデフォルト設定は Auto-NegotiationON です。

注4) LAN インタフェースピンアサイン (MDI-X)

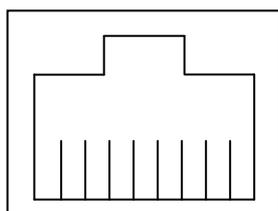


87654321

LAN インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	RX+	I	受信データ+
2	RX-	I	受信データ-
3	TX+	O	送信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	TX-	O	送信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

LAN インタフェースピンアサイン (MDI)



87654321

LAN インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	TX+	O	送信データ+
2	TX-	O	送信データ-
3	RX+	I	受信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	RX-	I	受信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

第5章 注意事項

5.1 電源の再投入について

電源投入後、何らかの理由により電源断とし、再び電源を投入する場合は、再投入まで5秒以上の間隔を空けてください。間隔を空けずに電源を投入された場合、本製品が誤動作する可能性があります。

5.2 装置の設置について

 注意	
	<p>本製品の上面や側面等に物を置いたり、積み重ねたりして密閉状態にならないように設置してください。</p> <p>本製品の通気孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。</p>

5.3 長期保管について

本製品には、アルミ電解コンデンサを使用しています。アルミ電解コンデンサは、長時間通電せずに保管すると性能が低下します。長時間ご使用にならない場合でも、安定してご使用いただくために1年に2時間程度は、電源を投入し通電してください。

第6章 トラブルシューティング

この章では、VF200F6 の運用管理上でトラブルが起こった場合の対処方法を説明します。使用中に動作がおかしい等のトラブルが発生した場合には、まず、以下の表を参照してチェックしてください。

6.1 表示ランプの状態によるチェックポイント

(1) 電源投入しても本製品前面の POWER ランプが消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
コンセントに電源がきていない。	<ul style="list-style-type: none"> 他の電気製品を接続し、コンセントに電気がきているか確認してください。配電盤が有る場合は配電盤も確認してください。
AC 電源アダプタが正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> AC 電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか確認してください。 AC 電源アダプタが正しく本体に接続されているか確認してください。

(2) FAIL ランプが赤色点灯している。

考えられる原因	チェックポイント
本製品に何らかの故障が発生している。	<ul style="list-style-type: none"> 電源投入後、FAIL ランプが赤色点灯したままになっている場合、自己診断試験中の異常または本製品動作中の異常を検出しています。再度電源を投入して確認してください。

(3) LINE ランプが点滅したままである。

考えられる原因	チェックポイント
VDSL LINE のリンクが確立していない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続している VDSL LINE 用ケーブルは正しいか確認してください。 接続している VDSL LINE 用ケーブルがショート、断線などしていないか確認してください。 接続している装置（対向装置）は正常に動作しているか（電源は、投入されているか等）確認してください。 対向装置の VDSL LINE の LINK ランプが点灯しているか確認してください。 VDSL と同時に電話をお使いの場合、本製品、モジュラジャックおよび電話機が正しく接続されているか確認してください。

(4) LINE ランプが 30 秒間以上継続して消灯状態である。

考えられる原因	チェックポイント
本製品が故障している。	<ul style="list-style-type: none"> 再度電源を投入して同じ症状がでるか確認してください。

(5) LINK/ACT ランプが消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
接続されている装置との間でリンク信号が受信されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続しているポート (LAN 用ポート) は正しいか確認してください。 ・ 接続している UTP ケーブルの (ストレート/クロス) は正しいか確認してください。 ・ 接続している UTP ケーブルは規格 (カテゴリ 5 以上) を満足しているか、確認してください。 ・ 接続している UTP ケーブルがショート、断線などしていないか確認してください。 ・ 接続している装置は正常に動作しているか (電源は投入されているか等) 確認してください。 ・ 接続している装置の LINK ランプは正しく点灯しているか確認してください。

6.2 電話機の状態によるチェックポイント

(1) 電話機が使用できない。

考えられる原因	チェックポイント
本製品と電話機が正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続しているポート (PHONE ポート) は正しいか確認してください。

MEMO

MEMO

VDSL MODEM

VF200F6

ユーザズマニュアル

(取扱説明書)

DOI-E11963

Copyright(c) 2006 NEC Corporation

平成18年4月 第2版

日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目7番1号

03-3454-1111 (大代表)

(禁無断複製)
